



お世話になった全国や世界の方々に、被災地から「ありがとう」のメッセージを発信していくことも重要です。また、災害で二度と被害者を出してはいけません。その為には、過去の教訓を十分に伝え、防災対策を講じていく必要があります。弊社では、復旧復興に携わってきた経験をもとに、この分野でも兵庫県様や神戸市様から多くに受託事業を頂きました。防災シンポジウム、防災グッズフェア、フェニックスバザール等々。また、多くの人が集まる光の復興イベント神戸ルミナリエにも、今日まで関わらせて頂いております。特にルミナリエは被災後、多くの人々に心の灯を与えてくれました。

## 復興関連事業 防災訓練等



神戸市様では阪神淡路大震災後、防災部局を強化し、毎年、大規模な防災訓練を実施し、また、産官学共同での防災ネットワーク研究に取り組んでいます。弊社でも、こうした取り組みに参加させて頂き、防災訓練や防災ネット（ホームページ）、講演会、広報ツール制作、事務局など受託を受けてきました。

## 報告書・記録集・出版等

震災後、兵庫県様、神戸市様等では、様々な震災に関する報告書・記録集・出版等を発行しています。こうした書物の企画、編集、印刷などの業務でも、多くの受託を頂きました。



その他にも復旧復興業務を遂行するにあたって、様々なご要望、ご相談がある場合、お気軽にご相談ください。阪神淡路大震災の復旧復興業務を通じて培ったノウハウ、人脈を紹介させて頂きます。



# Japan Emergency Management Agency

## 東日本大震災 復旧復興業務支援センター

阪神淡路大震災で培った復旧復興ノウハウを提供します!

東日本大震災の被害者の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。弊社は、1995年に、阪神淡路大震災を経験した神戸に本社を置く災害復旧復興支援会社(仙台支社)でございます。弊社では、阪神淡路大震災の際、被災日より、兵庫県庁様や神戸市役所様などから様々な要望を受け、避難所ネットワークづくり、罹災証明の発行、被災者用一時使用住宅の募集・抽選・発表、解体業務受付センター(三者契約)の運営、家屋罹災状況確認調査、慰霊祭、チャリティイベント、記録集作成など、様々な側面から復旧復興業務をさせて頂きました。この度、これらの経験をもとに、未曾有の災害となった東日本大震災においても、皆様のお役に立てたらと考えております。人手の問題や制作物相談などお気軽にご一報ください。全力でご支援させて頂きます。

## 救援物資整理・配送



弊社では、被災日当日より市内数百カ所に渡る避難所を把握するため活動を開始し、全国から集まる救援物資の整理、及び、配送業務、及び、その仕組みづくりに取り組みました。余震の中、徹夜での作業が続きましたが、機動力を活かして役所の皆様の手足となりました。特に避難所の把握には時間がかかりました。

## 罹災証明の発行



被災者の様々な支援を行うのに必要となるのが罹災証明の発行です。弊社では、人手不足の役所職員の皆様の代役として設営から人的サポートまで業務の請負を行いました。被災者が、長時間並ぶ状況になったことは反省でした。

## 被害状況調査



義援金を渡したり、様々な公共の支援を行う時に基本の証明となるのは罹災証明です。そして、罹災証明を発行するためには役所が被害状況を直接、把握する必要があります。弊社では、役所と協力し、民間企業発行の全世帯地図に一軒ずつ、全壊、半壊、一部損壊などの被害状況を落とし込んでいく業務をサポート致しました。こうした基本台帳が、固定資産税納付請求書発行時にも役立ちました。

## 復旧復興記録業務

災害から人々を守る為には、未来に記録を残し、教訓として伝えていくことが大切です。弊社では、被災日より役所各部局から撮影記録等を受託し、復旧復興記録を行って来ました。